

FVI「声なき者の友」の輪
Friends with the Voiceless International



2023年 秋号

URL : <http://www.karashi.net/>

隣人に対して「十の目と心」を向けよう

人が自分の友のためにいのちを捨てること、これよりも大きな愛はだれも持っていません。

(ヨハネ 15:13)

私たちには素晴らしい“漢字”という賜物が与えられています。「聴」もそのひとつでしょう。残念なことに、中国では簡易文字、韓国ではハングルが使われるようになり、この素晴らしい漢字が失われてしまいました。

十の目と十の心を持って、相手に耳を傾けるなら、きっと私たちは、その人にとって「良い友」として大切な存在となることでしょう。私は、この「十」という漢字を見たとき、「十字架」を想われました。私たちの罪を一身に背負って、十字架の上で身代わりに死んでくださったイエス・キリストの十字架です。

十字架に架かったこのイエスの目で相手を見る、このイエスの心で相手に接することの背後には、自分の目の前にいる人のためにいのちを捨てる覚悟が暗示されているのではないのでしょうか。イエスが「人が自分の友のためにいのちを捨てること、これよりも大きな愛はだれも持っていません」と言われたように、ここに「愛」があります。

現代社会における大きな課題の一つは、人々が「孤独」になっていることであると言われています。自分に耳を傾け、理解してくれる人が多くはいない社会になっているのです。自分の周りを見渡し、隣人の呻きを「聴かせていただく」者になりたいものです。「声なき者の友の輪」の願いは、私たちが実践する小さな「聴く愛」が、水面に投げられた石が波紋を起こすように、大きな輪になって日本中・世界中に広がっていくことです。

「声なき者の友」の輪 神田英輔

* FVIの働きは皆さまからのご支援に支えられているカタリストによって担われています。献金をもって各カタリストをご支援くださる際には、振り込み用紙に「神田指定」などとカタリスト名をご明記ください。